



ダイバーシティ通信 第2号

雑誌名	ダイバーシティ通信
巻	2
発行年	2015-03
URL	http://hdl.handle.net/10258/00009416



ダイバーシティ通信

室長からメッセージ

国立大学法人 室蘭工業大学 男女共同参画推進室長 木幡 行宏

本学においては、教員や学生の女性比率が少ない工業大学として、男女共同参画推進は大きな課題となっていたことから、平成22年10月に男女共同参画推進室を設置し、平成26年3月に女性研究者支援ユニットを立ち上げて本格的に活動を開始しました。現在はまだ一歩ずつその目標にむけて歩んでいるところですが、平成27年度は一昨年に採択された文部科学省「女性研究者研究活動支援事業」の最終年度にあたることから、その先を見据えたビジョンを描いていくことが必要であると男女共同参画推進室長として痛感しております。



具体的には、昨年秋の「教職員向けトップセミナー2014」での下野氏の講演でも紹介されていたダイバーシティ&インクルージョンという理念を大切にしていきたいと考えております。すなわち、多様なバックグラウンド（性別・国籍・宗教・学歴・職歴その他）を持った人々が集い、少数派であることに起因する不便等を感じることなく、すべての構成員が創造性を発揮できる大学となるように取り組んでまいります。ご要望・ご提案などありましたら、本誌編集部（女性研究者支援ユニット）までご連絡ください。

平成27年度に計画しているイベントとしては、学生・院生向け「キャリア形成のためのランチセミナー」（年3回、4月、6月と10月予定）、一般向け「教職員のためのトップセミナー2015」（11月予定）等があります。特に今年のトップセミナーにつきましては、女性研究者研究活動支援事業成果シンポジウムと併催して一般公開で開催いたします。詳細が決まり次第、ウェブページや次号の「ダイバーシティ通信」でご案内しますので、皆様お誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください。

室員からのコメント：

ひと文科系領域・准教授 永井 真也

くらし環境系領域（地域共同研究開発センター）・准教授 古屋 温美

新たに室員に加えていただきました永井です。機会をいただいたこともあり、男女のあり方について少し考えているところです。

「男同士」という言葉を耳にしなくなって久しいので、死語になったのかもしれませんが。男ばかりの社会で女性が発言することは、女性ばかりの社会で男性が発言することと同じです。なかなか空気の違うところで能力を発揮することは難しく、ルールの問題ではなく、数の問題だと思います。

私が女性との違いを認識しはじめたのは結婚してからです。常に異なる意見を持つ女性の存在が近くにいと、なるほどと思うことが多くて楽しいものです。いまは、娘と息子を見比べながら、二人の違いを発見して楽しんでいます。

男女共同参画社会がもたらしてくれるものは、違いから得られる新しさに触れることの楽しさではないでしょうか。本学の豊かな創造的空間のために頑張る所存です。



私の現在の専門分野は水産公共政策ですが、もともと土木工学を学び、特に水産土木分野の研究、調査に従事してきました。土木分野も女子学生や女性技術者が少ないことから、学生の就職活動時においては技術者・研究者として働く女性の情報が少なく、就職後においても女性のロールモデルがいないことから、仕事をする中で苦労した女性は私を含めて多いと思います。

そこで平成26年度から、室蘭工業大学建築社会基盤系学科土木工学コースおよび環境創生工学系専攻土木工学コースと公共システム工学コースの女子学生を対象に土木女子会を立ち上げ、お昼休みを利用して女子学生どうしの交流を行っています。26年度は3回実施しました。第1回は顔合わせ、第2回は大学院生が学部生に土木工学コースライフを紹介することで身近なロールモデルとなることを目指しました。第3回はこれからインターンシップ先を選んだり、就職先を考える参考になるようにとインターンシップの経験を報告してもらいました。今後の展望としては、卒業して就職した女子学生と現役女子学生とのつながりを継続して、気軽に交流ができるような会にしていきたいと思っています。



ご存知でしたか？

育児休業・子の看護休暇や介護休業・介護休業は男性も取得できます。

厚生労働省のパンフレット等もありますので、UFRまでご相談ください。

男女雇用機会均等法 育児・介護休業法 のあらまし



本学では子の看護休暇・介護休業は有給です（常勤・非常勤）。

子の看護休暇は子どもの予防接種や健康診断の付き添いのためでも取得できます。

育児休業取得時の代替非常勤講師等については、部局ではなく大学として予算措置されます。

室蘭の子育てフリーバーバー「こらん」



平成27年度の予定

- 4月24日 キャリア形成のためのランチセミナー第3回（学生・院生対象）
- 4月 メンター制度セミナー（全教職員対象）
- 5月 メンタリング講習（メンター希望者・メンティ希望者対象）
- 6月 キャリア形成のためのランチセミナー第4回（学生・院生対象）
- 8月～10月 英語セミナー（研究者対象）
- 10月 キャリア形成のためのランチセミナー第5回（学生・院生対象）
- 11月 「教職員のためのトップセミナー2015・女性研究者研究活動支援事業成果シンポジウム」（全教職員・一般対象）

UFRで閲覧・貸出可能な本の一部を紹介します

皆様ぜひご利用ください。学内便での貸し出しも対応します。

The Bedford Handbook Ninth Edition (Diana Hacker ほか)
Bedford/St. Martin's
アカデミック・スキルズ ～大学生のための知的技法入門～第2版
(佐藤望ほか) 慶応義塾大学出版会
大学生のためのリサーチリテラシー入門 ～研究のための8つの力～
(山田剛史/林創) ミネルヴァ書房
継続は力なり ～女性土木技術者のためのキャリアガイド～
(公益社団法人 土木学会 ダイバーシティ推進小委員会) 公益社
団法人 土木学会
ペコロスの母に会いにいく (岡野雄一) 西日本新聞社
新しいパパの働き方 (NPO 法人 ファザーリング・ジャパン) 学研教
育出版
LGBTQってなに? ～セクシュアルマイノリティのためのハンドブック～
(ケリー・ヒューゲル) 明石書店
NHK「ハートをつなごう」LGBT BOOK (NHK ハートをつなごう制
作班) 太田出版
家事ハラスメント ～生きづらさの根にあるもの～ (竹信三恵子) 岩波
書店
少子化時代の「良妻賢母」～変容する現代日本の女性と家族～ (S・
D・ハロウェイ) 新曜社
家族の悪知恵 ～身もフタもないけど役に立つ49のヒント～
(西原理恵子) 文藝春秋
夫婦のルール (三浦朱門/曾野綾子) 講談社
小さなサプライズから始めよう ～人を喜ばせる39のルール～
(リーコッカレル) 新潮社
Forbes Japan No 06 ～男組織における「女性力」の研究～
(Atomixmedia / President)
The Japan Times for WOMEN Vol.5 (The Japan Times, Ltd.)
AERA No 33 ～介護で仕事を辞めない～ (朝日新聞出版)
GQ No 136 ～変わりゆくアメリカの女性リーダー像・世界に通用する
プレゼン力～ (コンデナスト・ジャパン)
an・an No 1932 「21世紀をハッピーに生き抜くために知っておきたい
"新フェミニズム論"」 (マガジンハウス)
財界さっぽろ 2014年11月号 ～ケース別お悩み相談先電話帳・目から
ウロコの介護予防～ (財界さっぽろ)

開催予告：

キャリア形成のためのランチセミナー第3回
「プロフェッショナルとして自分らしく生きる」
4月24日(金) 12:00-12:45 A317室
(学生・院生対象)

講師：福井 素子 氏

(日本アイビーエム・ソリューション・サービス代表取締役社長)



第3回目は、札幌に本拠をおくIT企業から講師をお迎えしました。
学生の皆さん、将来を考える機会として、奮ってご参加ください。
氏名・学科(コース)・学年・E-mailアドレスを添えてUFRまでお早
めにお申込みください(お弁当つきですので、ベジタリアンなど食
事に制限のある方はお申込み時にご相談ください)。
申込み締切りは4月17日(金)です。

予告：

「室蘭工業大学ロールモデル集：大学院を修了した先輩11名か
らあなたへ贈るメッセージ」4月発行予定です。

大学院への進学を考えている(または、迷っている)学生の皆
さんにぜひお読みいただきたい内容で、女子学生だけではなく男
子学生にもおすすめします。ご希望の方はUFRまでご連絡くださ
い(A331室のほか、N棟ピロティ等でも配布予定です)。



開催しました：

「学長と女性研究者の懇談会」

11月19日(水) 12:00-13:00 本部棟中会議室

講義がある女性研究者も一堂に会せるようランチタイムに設定し、
女性研究者が日頃気付いた問題点・改善案・学生から寄せられた要望
などについて学長を交えて意見交換しました。平成27年度も開催予定
です。

キャリア形成のためのランチセミナー第2回

「仕事に活かされている大学院時代の経験」

10月30日(木) 12:00-12:45 A250室(学生・院生対象)

講師：佐藤 京子 氏(日建設プロジェクト開発部ファシリティソリューション部)



前回は上回る参加者(学生は男子10名を含む34名)が集まりました。
参加者の感想をご紹介します。

② これからの私の将来を見つめ直すことができました。進路の選択肢
も増え、見方が変わりました。

② 同じ女性として、仕事と家庭の両立をされている方のお話を聞いた
のはとてもためになりました。また、院での活動・研究が活かされて
いるという話を聞いて、自分の進路についても少し考えさせられました。

平成27年度は4月24日(左側開催予告をご覧ください)、6月、10月の
3回開催予定です。

教職員のためのトップセミナー 2014

「グローバル経営とダイバーシティ推進」

11月21日(金) 15:00-16:00 本部棟大会議室(全教職員対象・非常勤含む)

講師：下野 雅承 氏(日本IBM取締役副社長執行役員)



本年度は昨年を大幅に上回る54名の参加がありました。工学修士で
グローバルな会社で活躍する方からの、現場でのダイバーシティ推進
やインクルージョンの取り組みのお話で、活発な質疑応答で盛り上が
りました。

平成27年度はプロジェクト最終年度という節目を迎え、公開シンポ
ジウムとして開催します。皆様ぜひご参加ください(11月予定)。

ダイバーシティ通信 第2号(2015年3月)

国立大学法人 室蘭工業大学

男女共同参画推進室 女性研究者支援ユニット(UFR)

〒050-8585

北海道室蘭市水元町27番1号(教育・研究1号館 A331室)

TEL: 0143-46-5194 / FAX: 0143-46-5195

E-mail: ge_ufr@www.muroran-it.ac.jp

URL: http://www.muroran-it.ac.jp/ge_ufr/

本誌および本学の男女共同参画等
についてのご意見・ご要望をUFR
までぜひお寄せください。

男女共同参画推進室
Office for Promotion of Gender Equality

女性研究者
支援ユニット
Unit for Female Researchers